

平成29年度予算見積調書

課室名：水辺再生課
 担当名：ダム管理担当
 内線：5142

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B126	ダム等施設管理費			一般会計	土木費	河川費	河川総務費	ダム等施設管理費	
事業期間	平成29年度～平成29年度	根拠法令	河川法第17条、第66条		挑戦項目	03	大地震など危機への備えの強化		
					分野施策	020518	治水・治山対策の推進		
1 事業の概要				5 事業説明					
貯水池への堆砂の進行を抑えるため、掘削・搬出を行うとともに、土砂の有効活用を図る。また漏水により貯水に支障が出ているため対策工事を実施する。 ダム施設は洪水調節や水道水の安定供給を目的とするため、点検、整備、補修を実施し、適切かつ効果的な運用を図る。 (1) 非常勤等雇用費 7,032千円 (2) 管理事務所運用費 51,211千円 (3) 定期点検等委託費 161,700千円 (4) 工事費 164,968千円 (5) 使賃料・公課費等 2,737千円 (6) 有間ダム堆砂対策費等 319,332千円 (7) 漏水対策費等 59,940千円				(1) 事業内容 ア 非常勤等雇用費 非常勤職員の賃金及び交通費 7,032千円 イ 管理事務所運用費 公共利用料金、燃料費等 51,211千円 ウ 定期点検等委託費 各設備の保守点検、観測業務等に係る委託料 161,700千円 エ 工事費 ダム湖内の堆砂掘削・処分等 164,968千円 オ 使賃料・公課費等 職員の旅費、備品購入費等 2,737千円 カ 有間ダム堆砂対策費等 有間ダムから入間川への土砂還元 319,332千円 キ 漏水対策費等 入間川帯工の設計・工事 59,940千円 水位流量観測所の設計・工事 (有間ダム、合角ダム) (2) 事業計画 ・堆砂対策 (第一期) ダム洪水調節容量内の土砂撤去と土砂流入防止堰の設置 (第二期) 堆砂計画に合わせた土砂撤去 ※有間ダム堆砂対策 (H29～) 堆砂土砂を下流入間川に土砂還元し、河床洗掘箇所埋戻し材として活用 ・漏水対策 権現堂調節池の漏水対策工事実施 (H28設計、H29工事) (3) 事業効果 ・有間ダム堆砂対策 入間川への土砂還元により、処分コストを低減 洗掘箇所埋立による橋梁の安全確保 河床の安定による瀬切れ防止 河床低下防止による護岸等の被災予防 ・漏水対策 貯水機能が良好に保たれることにより、適切な運用が可能となる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 利水者等との共同管理施設であるため、事業の実施については関係団体と連携を密にしている。					
2 事業主体及び負担区分									
有間 (県66.4%、企業局14.4%、飯能市19.2%) 合角 (県66.5%、企業局29.6%、寄居町2.0%、深谷市0.7%、小鹿野町1.2%) 権現堂 (県63.9%、企業局31.0%、茨城県5.1%)									
3 地方財政措置の状況									
なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
(1) 事業に係る人件費 9,500千円×1.1人=10,450千円 (2) 組織の新設、改廃及び増員 なし									
				財 源 内 訳				一般財源	前年との対比
予算額		諸収入	県債						
決定額	766,920	211,584	295,000					260,336	351,755
前年額	415,165	164,474						250,691	